

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	地域・在宅概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	1年教室
担 当 教 員	戸板 宏一郎	実務経験と その関連資格	医療機関で看護師として勤務していた			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>本科目は、地域で生活する人々とその家族の暮らしを理解するとともに、生活が健康に与える影響を学んでいく。人の暮らしは個別的で自己の価値観を形成していることを学ぶ。さらに、人は家族の中で生活し、家族は地域の中で生活する存在であること、ソーシャルサポートの存在や生活環境が健康に影響することを学んでいく。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>授業への取り組み 20%、レポート 80%</p> <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>地域療養を支えるケア(メディカ出版) 看護学概論(メディカ出版) 国民衛生の動向(厚生労働統計協会) そのほか、適宜紹介する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>自分が暮らしている市町村の広報誌を積極的に読みましょう。自分も地域で暮らしている存在です。開催される行事やボランティアに積極的に参加しましょう</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>その都度、レポートの提出はお知らせします。レポートは評価対象です。期限内に提出してください。暮らしや生活、価値観を理解するためには他者の意見を聴くこと、自分の考えを伝える努力をしましょう</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「暮らす」とはということなのか、理解できる		テキスト・参考書	履修概要を事前に確認する	
	各コマにおける授業予定	「暮らす」ということについて、時間の流れや生活の場の広がり、ライフイベントなどから考え、価値観を形成していることを学習する【人生の軌跡】				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「人々の生活環境や生活状況」について、理解できる		テキスト・参考書	自分の生活の場を伝えられるように工夫してくる	
	各コマにおける授業予定	住宅の種類、室内環境と動線、住まい方、経済状況等から人々の生活について考える【見取り図】				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「家族」とは何か、理解できる		テキスト・参考書	家族について、テレビ・漫画などに出てくる家族から考えておく	
	各コマにおける授業予定	家族の定義、家族の特徴、家族の機能、家族の役割について学習する				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「家族」とは何か、理解できる		テキスト・参考書	テキストを読んでくる	
	各コマにおける授業予定	家族システム理論、家族発達理論、家族ストレス対処理論を活用し、家族のアセスメントや支援について学習する【エコマップ】				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	「地域で生活する」とはということなのか、理解できる		テキスト・参考書	自分の生活圏内にある施設、公民館、ごみステーション、バス停、病院、診療所、スーパーなど見てくる	
	各コマにおける授業予定	住み慣れた地域、自分らしい生活、住まい・住まい方について学習する【生活圏の見取り図】				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 「支えあって生きる」とはどうか、理解できる	テキスト・参考書	普段どのような人々と関わっているのか、考えてくる
	各コマにおける授業予定	仲間や近隣の人々、学校や職場との交流についてDVDを視聴し、ソーシャルサポートと健康管理について考える		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 「地域の社会資源」について、理解できる	テキスト・参考書 市町村の広報誌	自分が生活する市町村の広報誌を持参する
	各コマにおける授業予定	地域のフォーマルサービス・インフォーマルサービスやサービスに関する情報収集入手の方法について学習する		
第8回	講義 形式	授業を通じての到達目標 地域の生活環境が健康に与える影響について理解できる	テキスト・参考書	テキストを読んでくる
	各コマにおける授業予定	生活圏(都市部、僻地等)や生活環境と健康問題、セルフケアについて学習する		